

沿革

年 月	内 容
昭和 22. 7	長野県電気工事業協同組合 設立
39. 9	長野県電気工事業工業組合 設立認可
41. 6	長野県電気工事業協同組合 解散 ⇒ 工業組合に一本化
41. 10	機関紙 電工だより 創刊号発刊
42. 7	相互扶助を目的とした保険代理店 長野電興(株)設立 ⇒ 平成 7 年 1 月より商法改正に伴い 長野電興合資会社 に組織変更
44. 10	組合法施行 20 周年大会により当組合が優良組合として長野県知事表彰受賞
48. 10	家庭用電気設備安全月間全国運動スタート ⇒ 現在の電気使用安全月間となる
50. 5	長野県独自で第三者損害賠償保険導入 (日本火災海上保険(株)) ⇒ 54 年 5 月より全日本電気工事業工業組合連合会 第三者損賠賠償制度に移行
52. 1	一般用電気工作物共同保守管理業務 名古屋通商産業局に“承認法人”として認可 ⇒ 現在の点検業務となる
53. 3	保守技術員講習に併せて 業法・保安講習会を支部単位でスタート ⇒ 現在は電気工事保安講習会となり県統一開催となる
54. 11	長野県電工組政治連盟設立
59. 9	優良組合として通商産業大臣表彰を受賞
63. 3	事務所所在地を(株)電気会館に移転する
63. 4	長野県電気工事業工業組合青年部会設立
平成 5. 10	第一種電気工事士定期講習会スタート
7. 5	工業組合創立 30 周年記念式典開催
12. 9	第 1 回 製・販・工 懇談会開催
13. 7	一般用電気工作物定期調査業務 経済産業大臣より認可される
16. 3	“長野電気安全サービス”として上記業務開始
22. 11	建産連主催 『ものづくり体験フェア』 参画 ⇒ 後に長野県職業能力開発協会との共催として青年部会が出展 (現在は開催終了)
25. 11	全日電工連 第 30 回全国大会に於いて昭和 53 年より実施してきた“電気工事保安講習会”に対して組織活性化事業として優良賞を受賞
26. 5	工業組合創立 50 周年記念式典開催
29. 11	全日電工連 第 32 回全国大会に於いて平成 12 年より実施してきた“製・販・工懇談会”に対して組織活性化事業として優良賞を受賞
令和 5. 1	事務所所在地を長野ターミナル会館へ移転する
5. 4	電気工事士免状発行業務受託